



花見川ライブラリー 第13便

花見川図書館(本館)と団地分館(分館)からの
お知らせと話題のページ花見川ライブラリーです。



花見川図書館開館 40 周年

花見川図書館は、昭和 53 年（1978）6 月 3 日に開館し、今年(2018)6 月に 40 周年を迎えました。当時、翌日の千葉日報には「買い物帰りも気軽に 市内で 4 番目こてはし図書館」と掲載されました。開館時の名称は「千葉市立こてはし図書館」で、蔵書数は 28,000 冊からのスタートでした。平成 6 年（1994）、花見川図書館にもコンピュータが導入され、1 人の貸出冊数が 2 冊から 10 冊へと大きく変わりました。また、現在は自宅からパソコンで本の予約ができるようになりました。今年、花見川図書館では開館 40 周年記念として、開館から 10 年ごとに 4 回にわたり当時のベストセラーの展示を行います。是非この機会にご覧ください。



夏休みは図書館へ

今年は千葉市の図書館全館で「夏休み読書チャレンジ」を行います。小学生の皆さんは、「まほうの読書ノート」を持って図書館に来てください。夏休み限定！図書館からのミッションに挑戦してみませんか？

お待ちしております

花見川図書館・花見川団地分館のおはなし会

絵本とおしゃべり広場 8月3日(金) 11時から11時30分 0～3歳児とその保護者
乳幼児を対象とした絵本の読み聞かせとその日に参加されている方々とのおしゃべりタイムです。

わらべ歌と絵本の会 8月17日(金) 11時から11時30分 0～3歳児とその保護者
親子でわらべうたと絵本の世界を楽しんでみませんか。

おはなし会 (毎週金曜日) 4時から4時30分 4歳児以上
絵本の読み聞かせ、すばなし、指あそびなどを行います。

花見川団地分館

夏の親子おはなし会 7月28日(土) 11時から 3歳児以上
おはなし会 8月22日(水) 3時30分から 3歳児以上

千葉市の歴史紹介

【花見川区の歴史 町奉行所同心の見た御普請所】

印旛沼堀割普請（花見川開削工事）は、印旛沼と江戸（東京）湾を一本の堀割（水路）で結ぼうとした工事で、江戸時代には享保期・天明期・天保期の3度行われ、いずれも未完成に終わっています。天保期の工事は老中水野忠邦が主導した天保の改革の一環で実施され、沼津藩・庄内藩・鳥取藩・貝淵藩・秋月藩が幕府から工事を命じられました。

天保14年(1843)7月23日に着工され、約3か月後の閏9月13日、失政を理由に水野が失脚するとその10日後の閏9月23日に5大名は工事の任を解かれました。

工事の間、江戸南町奉行所同心加藤太左衛門が工事現場を見廻り、見聞・探索したことを日記に留めています。以下、工事末期の記載を現代文に直して抄録します（原資料に番号はなし）。

（前略）**閏9月13日**：①庄内藩の人足小屋5棟が今夕焼失した。②庄内から来た人足が8月下旬から200人程痢病にかかり、その内13人～14人が病死し、家来もこれまで痢病で6～7人病死したようだ。

閏9月14日：①庄内藩の工事現場は工事が捗っている。②鳥取藩の工事現場は崩れている場所が所々見え、掘った所に杭を打って土留めをしたが土留めが崩れている。また掘下げた場所では泥土がわき出しており、掘り悩んでいる。③貝淵藩でも掘り悩んでいるが鳥取藩程ではなく、崩れた場所は土を取り除き法面を付けている。④秋月藩の工事現場は間もなく完成し、今は鋤簾（農具）で高下を直し、検見川の海岸を浚っている（閏9月17日完成）。

閏9月22日：①貝淵藩の工事現場は、秋月藩との工事現場境から天戸村猪之鼻橋までは4～5日中に完成すると家来から聞いた。しかし、猪之鼻橋から花島村（鳥取藩との境）までは未完成である。

閏9月25日：①大名方は人足へ賃金を支払っていないようなので探索した。②庄内藩では人足へ賃金を渡さなかったのが昨夜藩の小屋へ多くの人足が詰めかけたが、明日夕方までに渡すと伝えると帰っていった。③貝淵藩も庄内藩と同様という。④庄内藩では工事現場の撤収にあたり掘った場所を手直して、幕府勘定方へ引き渡したという。他の大名とは違い、取り計らい方がよろしいといわれている。⑤堀割沿いの村々には、タバコ・荒物・酒店・古着屋などを商いする者が江戸や近在から大勢やって来たが、工事が中止され人足と5大名の家来が引き払うため、その者達は難儀している。⑥堀割沿いの村々には、上州・常州・近村・江戸などから博奕を催す者が紛れ込んでいるらしいので探索し召捕ろうとしたが、工事の中止で博奕は行われなくなった。⑦工事で掘り上げた土が堀割縁の村々の田畑に置かれて田畑が潰れ、村々は自分達では土の取り除きができないと嘆いている。⑧堀割縁の村々は、工事が完成すれば水害が無くなるのに工事が中止になってしまったと嘆いている。⑨（庄内藩の）高台の工区、（鳥取藩の）花島村辺りの工区、そこから東金橋までの（貝淵藩の）工区が未完成といわれている。花島村・東金橋あたりはケトウ土が多く、掘り下げても掘ったところへ泥砂がわき出し、掃いた土も縁の所で崩れ下り、堀割の中を掘ると一晩で元通りになってしまう（後略）。

【参考文献】 『天保期の印旛沼堀割普請』 千葉市史編纂委員会 千葉市 平成10年
『千葉いまむかしNO.11』 千葉市教育委員会 平成10年